

令和2年度 決算をお知 らせします

令和2年度の各会計の決算の状況と、それに基づく財政健全化判断比率などについてお知らせします。
※各数値については、表示単位未満を四捨五入しています。

問い合わせ
財政課 (☎8516608)

一般会計決算の状況

令和2年度の一般会計の実質収支は、約5000万円の黒字となりました。

歳入は、特別定額給付金の実施に伴う国庫補助金の増加などにより増加しましたが、税制改正の影響などにより市税収入は減少しました。

歳出は、子育て世帯に対する給付金をはじめとした各種新型コロナウイルス感染症対策事業に加え、朝宮公園陸上競技場の整備、学生医療費の助成など、「暮らしやすさ」と幸せをつなぐまち「かすがい」の実現に取り組みました。

歳入

市税の減少

新築家屋の増加などにより固定資産税は増加しましたが、税制改正の影響などにより法人市民税が減少し、市税全体では前年度比約8.0億円の減収となりました。

特定財源^{※1}の増加

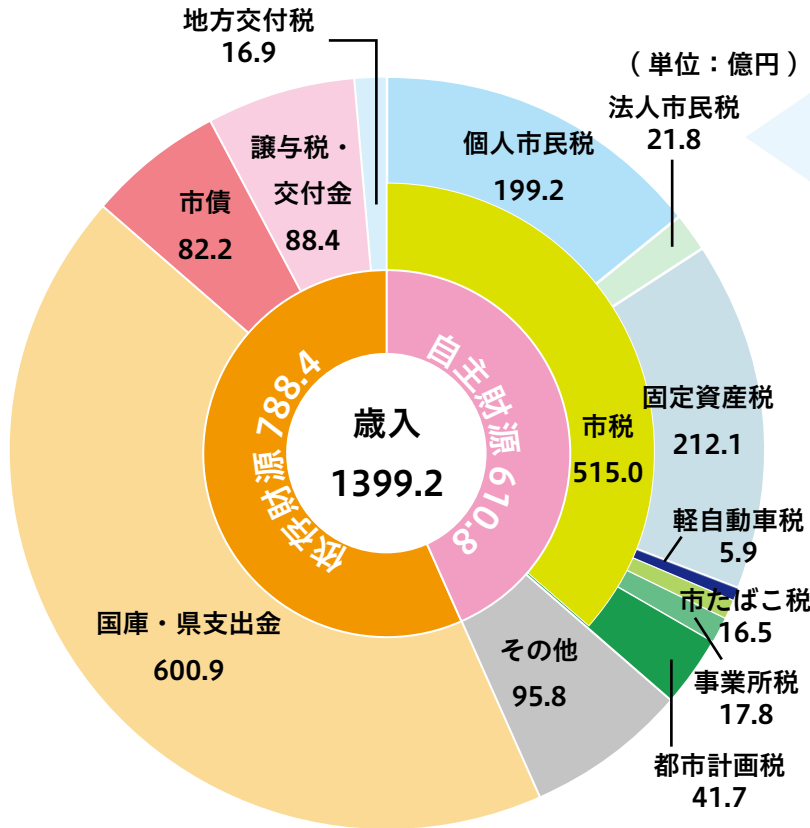
新型コロナウイルス感染症対策として実施した特別定額給付金の支給などに伴い、前年度に比べ、国庫・県支出金が約383.6億円増加しました。

※1 使い道が決まった財源

財政調整基金^{※2}の繰り入れ

市税収入の減少に伴い、施策実施に必要な財源を確保するため、財政調整基金から8.0億円を繰り入れました。

※2 年度間の財源の不均衡を調整するための積立金



歳出(性質別)

補助費等の増加

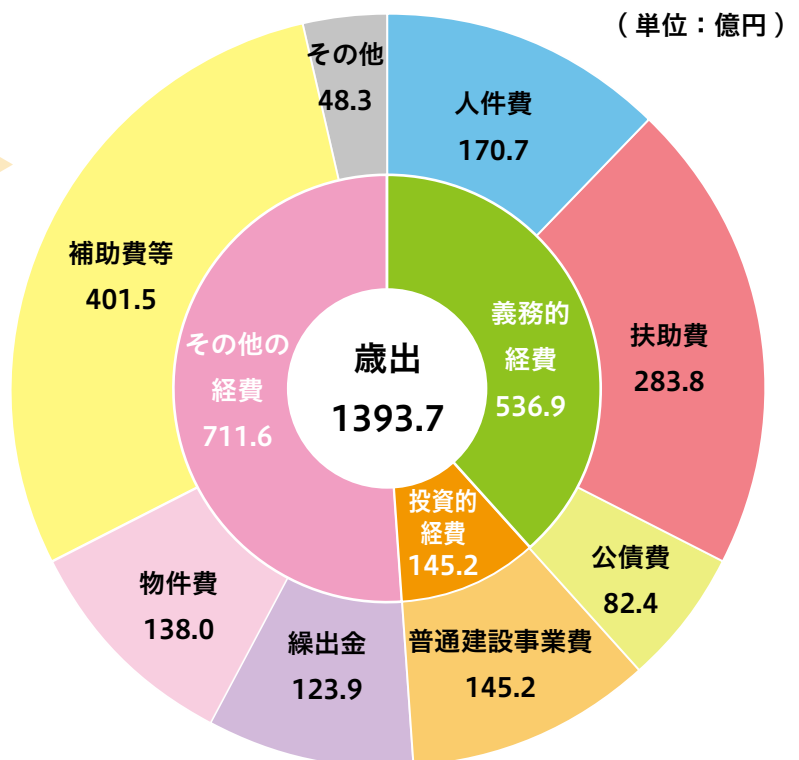
新型コロナウイルス感染症対策として実施した特別定額給付金の支給などに伴い、約325.0億円増加しました。

普通建設事業費の増加

朝宮公園整備、JR春日井駅周辺整備などにより、約44.9億円増加しました。

扶助費の増加

かすがい新生児特別給付金、かすがい子育て生活支援金の支給などにより、約12.9億円増加しました。



歳出(目的別)

教育費

- ・小中学校校舎等小工事 15.4 億円
ICT 教育環境整備工事などを実施しました。
- ・学校給食調理等 12.8 億円
給食調理などの食育推進事業を実施しました。
- ・朝宮公園整備 12.0 億円
陸上競技場整備工事などを実施しました。

土木費

- ・雨水流出抑制対策 16.6 億円
熊野桜佐地区雨水 1 号調整池築造工事などを実施しました。
- ・JR 春日井駅周辺整備 12.7 億円
JR 春日井駅南東地区の市街地整備のため、再開発組合へ補助金を交付しました。
- ・熊野桜佐土地地区画整理事業 10.0 億円
熊野桜佐地区において、組合施行による土地地区画整理事業を進めています。

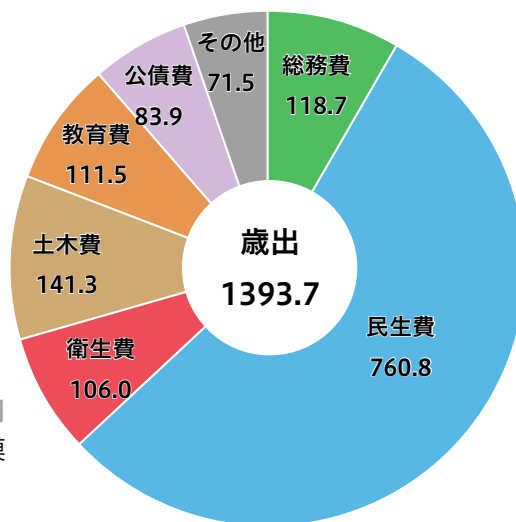
総務費

- ・財政調整基金積立金 10.7 億円
- ・土地開発公社経営健全化 8.3 億円
経営健全化計画に基づき、土地開発公社の保有土地の縮減を図りました。
- ・文芸館・市民会館小工事 3.4 億円
文芸館スカイフォーラム改修その他工事などを実施しました。

公債費

- ・元金 78.4 億円
- ・利子 4.1 億円

(単位：億円)



その他

- ・(商工費) 新型コロナウイルス感染症対策協力金 7.1 億円
愛知県の要請を受けて休業した中小事業者に対して、1 事業者あたり 50 万円を支給しました。
- ・(労働費) 勤労福祉会館小工事 3.9 億円
勤労福祉会館研修棟・体育館大規模改修その他工事などを実施しました。
- ・(消費費) 消防庁舎整備 3.6 億円
消防署建設用地の購入などを実施しました。

民生費

- ・特別定額給付金 312.2 億円
新型コロナウイルス感染症への経済対策として、1 人につき 10 万円を給付しました。
- ・児童手当 50.3 億円
- ・障がい者等介護給付及び訓練等給付 49.5 億円
居宅介護などの障がい福祉サービスの給付や支援を行いました。

衛生費

- ・感染症予防対策 10.1 億円
定期予防接種の対象にロタウイルスワクチンを追加するとともに、任意予防接種費用の一部助成などを実施しました。
- ・資源分別収集 5.1 億円
市内全域の資源の分別収集などを実施しました。
- ・健康診査等 4.9 億円
各種健康診査、がん検診などを実施しました。

事業名称	歳入	歳出
公共用地先行取得事業	1 億 4721 万円	1 億 4721 万円
国民健康保険事業	249 億 3131 万円	245 億 7724 万円
後期高齢者医療事業	50 億 8318 万円	49 億 5727 万円
介護保険事業	228 億 8180 万円	220 億 5253 万円
介護サービス事業	6158 万円	6158 万円
民家防音事業	2323 万円	2323 万円
春日井インター北企業用地整備事業	4349 万円	1046 万円
潮見坂平和公園事業	1 億 1800 万円	1 億 1800 万円

令和元年度に引き続き、令和2年度においても特別会計の決算は黒字もしくは収支均衡となりました。

特別会計

決算の状況 特別会計・企業会計

企業会計

事業名称	区分	決算額	
		収入	支出
市民病院事業	収益的	収入	170 億 5826 万円
		支出	172 億 8690 万円
	資本的	収入	6 億 1417 万円
		支出	18 億 9052 万円
水道事業	収益的	収入	60 億 13 万円
		支出	54 億 210 万円
	資本的	収入	5 億 7747 万円
		支出	15 億 8938 万円

事業名称	区分	決算額	
		収入	支出
公共下水道事業	収益的	収入	70 億 6557 万円
		支出	68 億 2460 万円
	資本的	収入	69 億 8847 万円
		支出	90 億 7718 万円

収益的収支…経営活動全般に関する収支
資本的収支…施設の建設などに関する収支

特定目的・人を対象に実施する事業について、目的に沿った収支を明確にするため一般会計とは別に経理するものです。

令和元年度に引き続き、令和2年度においても特別会計の決算は黒字もしくは収支均衡となりました。

使用料などの収入で経費を賄う事業について、一般的な企業に類する方法により経理するものです。

貯金と借入金

基金残高

…180億円

13億円

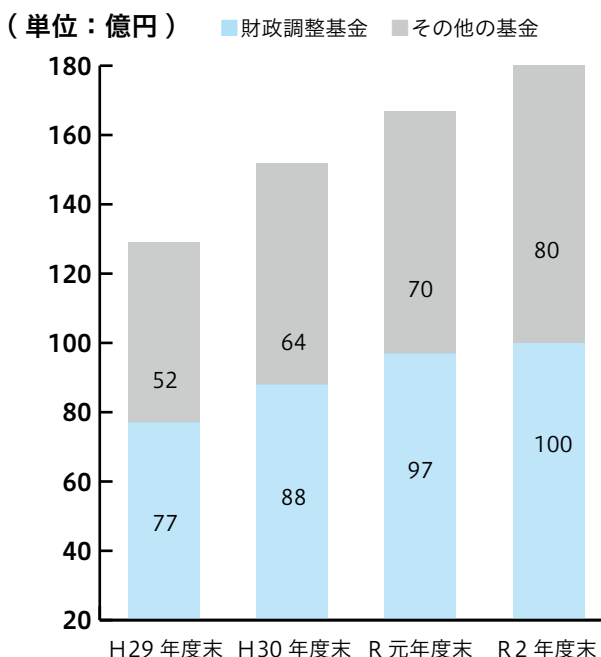
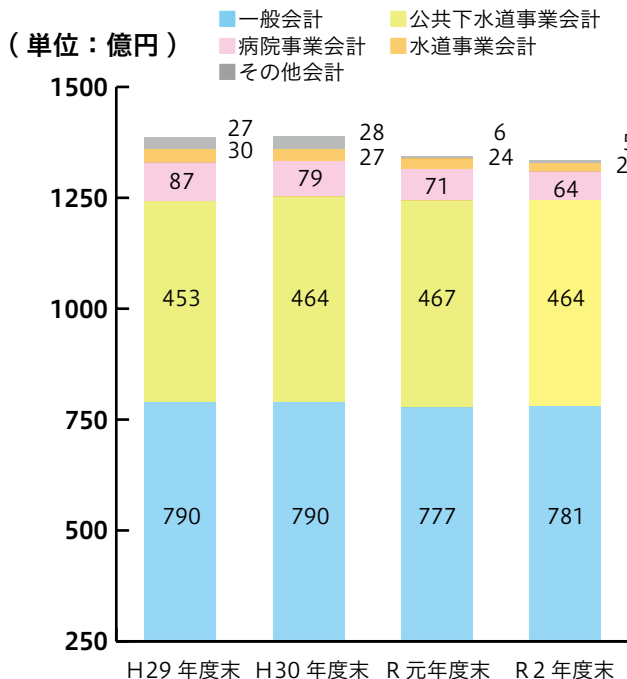
基金は家計の貯金に当たり、災害などの想定外の支出に対する備えや予定する収入が確保できない場合に取り崩して使用する他、特定の目的を達成するために必要となる財源として積み立てを行っています。

市債残高

…1333億円

12億円

市債は家計の借入金に当たり、長期間使用する公共施設などを整備する際に、世代間の不公平を是正する財源として活用します。今後も計画的な借入を行うことにより、健全な財政運営に努めます。



決算に基づく財政健全化判断比率など

財政健全化判断比率は、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための指標です。本市の指標は、いずれも基準を超えないものとなりました。今後も、年度ごとの指標の推移や指標の算出の基礎となる数値を分析することで財政運営の課題を明らかにし、自主的かつ計画的な財政健全化に努めます。

指標	説明	春日井市決算			早期健全化基準(※)
		H30	R元	R2	
健全化判断比率	実質赤字比率	—	—	—	11.25%
	連結実質赤字比率	—	—	—	16.25%
	実質公債費比率	4.2%	4.4%	4.8%	25.0%
	将来負担比率	33.2%	25.4%	23.7%	350.0%
資金不足比率	各公営企業会計での事業規模に対する資金不足額の割合(対象事業：水道・病院・公共下水道・春日井インター北企業用地整備)	—	—	—	20.0%

※この基準を超えると健全化に向けた取り組みが必要になります。

各指標の状況

実質公債費比率

借入金の返済額が増加したことなどにより、前年度に比べ0.4ポイント増加しました。

将来負担比率

土地開発公社の負債額の減少などにより、前年度に比べ1.7ポイント改善しました。